

# 第18回 天然薬物の開発と応用シンポジウム 「薬学における生薬・漢方の未来を考える」

開催日 2010年11月11日(木)～12日(金) 9:00～17:50

場所 北里大学薬学部コンベンションホール 東京都港区白金5-9-1

主催 日本薬学会生薬天然物部会 共催 日本生薬学会 北里大学薬学部

## シンポジウム1「薬用植物を理解し活用する」(11日午前)

招待講演「閉鎖型植物生産施設における薬用植物の生産」吉松嘉代 (医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター育種生理研究室長)

「甘草のグリチルリチン合成のゲノム機能科学: 遺伝子クローニング, 合成生物学, サポニンパターンの決定因子」

斉藤和季 (千葉大学大学院薬学研究院教授/理化学研究所植物科学研究センター副センター長)

「シルクロードの伝統薬「甘草」の生えるところとそのまわり」伊藤美千穂 (京都大学大学院薬学研究科准教授)

## 招待講演・特別講演「生薬の活用について考える」(11日午後)

招待講演「植物成分を利用した健康食品の現状と問題点」梅垣敬三 (国立健康・栄養研究所情報センターセンター長)

招待講演「西洋ハーブの品質評価」袴塚高志 (国立医薬品食品衛生研究所生薬部室長)

特別講演「漢方薬の特質と問題点」小曾戸洋 (北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部部長)

## シンポジウム2「漢方を薬学的に理解する」(12日午前)

特別講演「漢方薬の作用メカニズムの解析から学ぶこと」山田陽城 (北里生命科学研究所・感染制御科学府教授)

「薬能に基づいた生薬・漢方薬の薬理試験」牧野利明 (名古屋市立大学薬学部准教授)

「漢方方剤のメタボロミクスとデータマイニング」山崎真巳 (千葉大学薬学部准教授)

## シンポジウム3「漢方の臨床から学ぶ」(12日午後)

特別講演「漢方の臨床 28年の経験から」花輪壽彦 (北里大学東洋医学総合研究所所長・漢方針灸治療センターセンター長)

「漢方にEBMは必要か？」小田口浩 (北里大学東洋医学総合研究所EBMセンター室長)

「漢方胃腸薬はなぜ効くのか」及川哲郎 (北里大学東洋医学総合研究所臨床研究部部長・漢方診療部副部長)

「漢方薬局の現状」坂田幸治 (北里大学東洋医学総合研究所薬剤科部長補佐)

## ランチョンセミナー(11日, 12日. 事前登録制)

「伝統医学分野における国際標準化の現状と展望」鳥居塚和生 (昭和大学薬学部教授)

「漢方診療の実際」早崎知幸 (北里大学東洋医学総合研究所漢方診療部副部長)

## 一般口頭発表(11日, 12日. 公募)

天然薬物全般とその関連分野に関する発表(口頭発表. 質疑応答3分を含め15分)



神農(五古医聖図)

参加登録費 [一般会員]4,000円(5,000円) / [学生会員]1,000円(2,000円) / [非会員]5,000円(6,000円)

ランチョンセミナー 1日当たり1,000円(事前登録制, 昼食代)

懇親会費 [一般会員]4,000円(5,000円) / [学生会員]1,000円(2,000円) / [非会員]5,000円(6,000円)

( )内は当日. 懇親会は11月11日(木), 学生ホールにて開催いたします。

申込締切(必着) 講演申込締切8月30日(月), 講演要旨提出締切9月13日(月), 予約参加申込締切10月11日(月)

申込・問合せ方法 件名に「第18回天然薬物の開発と応用シンポジウム」と記載し, 氏名, 〒, 住所, 電話番号, 所属を明記して, メール(kobayashiy@pharm.kitasato-u.ac.jp)にて下記までご連絡下さい。

北里大学薬学部生薬学教室内 第18回天然薬物の開発と応用シンポジウム実行委員長 小林義典

本シンポジウムに参加された薬剤師の方には, 希望により(財)日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度による「研修受講シール」を交付する予定です。



詳細はこちら <http://www.pharm.kitasato-u.ac.jp/shoyaku/symposium2010/>